

平成２８年度 弘前市総合計画審議会議事概要（第３回）				
まちづくり・なりわいづくり分科会				
日 時	平成２８年８月１９日（金） １３時００分～１５時００分			
場 所	弘前市役所新庁舎 ３階 防災会議室		傍聴者	０人
出席者	委 員 （１０人）	森座長、小磯委員、熊谷委員、前田委員、太田委員、山形委員、石川委員、浅利委員、一戸委員、三上委員		
	事務局 （６人）	ひろさき未来戦略研究センター副所長、ひろさき未来戦略研究センター総括主幹、ひろさき未来戦略研究センター総括主査、ひろさき未来戦略研究センター主査、ひろさき未来戦略研究センター主事		
	その他	商工政策課、産業育成課		
会 議 概 要				
１ 開会				
２ 議事				
（１）施策主管課ヒアリング【なりわいづくり】				
○主な質疑等の内容は以下のとおり。				
①施策名：重点３分野の強化				
・指標である施策活用企業数が減少していることに対する分析はあるのか。				
⇒食産アドバイザーを農業政策課へ事務移管したため、指標の数値から除いている。食産アドバイザー以外の数値は増加していることから、単純に施策活用企業数が減少したとは捉えていない。				
・「さまざまな施策を講じ」とあるが具体的にどのような施策を行っているのか。				
また、その中で効果を上げているものは何か。				
⇒設備投資への補助、生産ラインや経営体質の改善、医工連携アドバイザーとの連携などあるが、最も効果的だと思われるのは重点３分野基盤強化に係る施策である。				
・県外から売り上げなどを獲得できる分野での雇用が一人増えると、人口が９.５人増えるという研究があることから、県外への販路拡大などを強く後押しして欲しい。				
・企業への支援を継続する場合に、雇用の増加を条件にすることも検討してはどうか。さらに、雇用が増加した企業に対しても必要に応じた支援を検討しては。				
・産業に従事する人材の育成が重要である。例えば、アパレル産業であればファッション甲子園などは定着してきているので、それ以外の分野においても人材				

育成も含めて政策を考えることも必要。

②施策名：若年者や女性の就職支援

- ・若年女性が弘前にどれだけ定着するかが重要であり、その就職支援に対する市の考え方はどのようなものか。

⇒女性が働きやすい職場環境の整備や保育、子育て、福祉などと連携して進める必要があると考えている。

- ・大学生ハローワーク求人の公開が就職活動終盤の6月1日となっていることが地元就職の足を引っ張っている。早期求人公開に向けてハローワークに強く働きかけるべき。

⇒8月下旬にハローワークとの意見交換会があるので、議題として取り上げてみたい。

- ・新規高卒者の離職率に関する分析はしているのか。

⇒県としてのデータを入手しており、3年以内の離職率が4割という数字になっている。対策としては、事業所の採用間もない若手の職員に対するカウンセリング事業などを行っている。

- ・高校と連携した就職支援などは実施しているのか。

⇒普通高校を対象とした就職支援策は行っていないが、技術系の高校に関しては例えば、溶接協会と連携し技術指導を行う事業への補助などは行っている。

- ・商工会議所においては、一人親家庭への就労支援を行うこととしているが、市において一人親家庭への就労支援は行っているのか。

⇒就労自立支援室にて行うこととなっている。

(2) 二次評価案について【まちづくり】

○主な意見、提言等の内容は以下のとおり。

①施策名：市民相互による細やかな除雪への支援

- ・町会等除雪報償金を活用するにあたり、事務手続きが煩雑であるため、協力町会を増やすためにも、事務手続きの簡素化を検討してほしい。

②施策名：公園・緑地等の整備

- ・弘前城本丸石垣整備事業などの事業が位置付けられている中で、施策の成果指標が1人あたりの公園面積では、人口が減れば上昇する数値でもあるため見直すべきと考える。

③施策名：道路網の整備

- ・中心市街地の活性化のためにも、道路ネットワークの形成と合わせて中心市街地を到着地点とした駐車場整備が必要である。駐車場整備が本施策に合致しないとしても、関係する施策で検討してほしい。

④施策名：交通安全設備の整備

- ・通学路合同点検などを実施し、関係者から整備の必要箇所を吸い上げているが、整備されていない箇所もある中で、さらに毎年点検が行われている。点検の結果、どのように対応したのかをフィードバックする必要がある。

⑤施策名：省エネルギーの推進

- ・省エネの取組として、節約するだけでは発展性のある施策にはならない。節電により建物の中も暗く、雰囲気も悪くなる。自然エネルギーの効果をPRし、省エネシステムの活用による地球温暖化対策に取り組んでほしい。

⑥環境保全活動の推進

- ・自然学習を実施している一方で、子どもたちには河川などへ近づかないよう教えているという実態もあることから、全体的に整理して子どもたちと接する必要がある。
- ・河川清掃美化運動を実施している中で、草が生い茂るなど維持管理が足りない河川へもしっかりと対応する必要がある。